

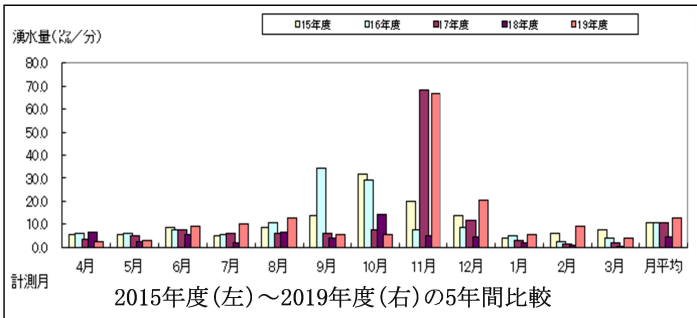
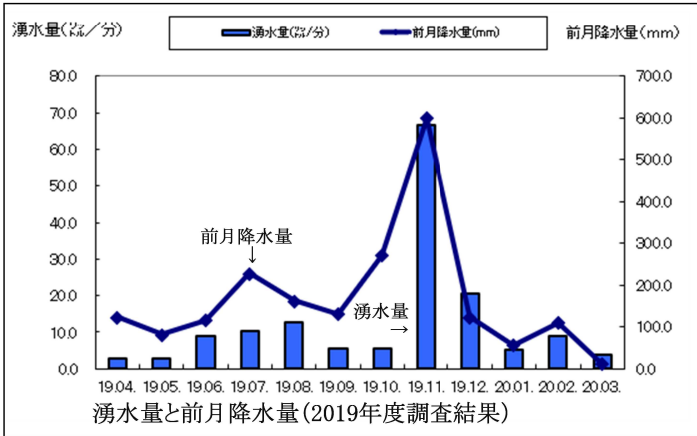


ハケ・用水・わき水通信

NPO法人 府中かんきょう市民の会
 発行 2020年6月5日(金) No.35
 担当 葛西利武 ☎090-5564-5838
 H P <http://f-env.sakura.ne.jp>
 府中市市民活動センタープラッツ登録団体

東京の名湧水57選／西府町1丁目

西府町湧水をみんなで守ろう！！



「西府町湧水」は西府崖線(府中崖線の西端部)にある、府中市に存在する数少ない湧水の一つです。2004年2月に「東京の名湧水57選」に府中市として唯一選ばれた湧水です。㊤写真



湧水量測定14年目／府中市からの委託事業

当会として、この湧水が枯渇しないよう保全し守って行こうと、2006年4月より毎月1回湧水量を測定しています。この調査は2019年度で14年目となり、府中市からの委託事業にも指定され、年2回の水質調査も含めて調査結果を市に提出しております。このデータは府中市が毎年発行している「府中の環境」に掲載されています。

西府町湧水は、地域の宅地開発で一時は枯渇寸前まで湧水量が減少しましたが、近年再び湧水量が増加傾向を示すまで回復してきました。湧水量は降水量にほぼ比例しますので、前月の降水量が多い月は湧水量も増加します。㊤㊤グラフ

毎月の湧水量は一分あたり年間平均11.5リットルで、一日あたりの平均湧水量は約16.6トンにもなります。

過去5年間の月別湧水量を見ると、毎年9月から11月にかけて湧水量が増加していますが、この期間は台風等によって降水量が増加するためと思われます。㊤㊤グラフ (竹内 章)

※コロナ禍により、今回は春の清掃活動(5/16)とわき水まつり講演会(7/5)、野外活動(7/19)を中止としました。

研修生 感想文 府中市職員研修を受け入れ

- 目的 研修生が市民活動・協働事業の現場を体験し、市民活動を知るとともに市民協働を考えるため
- 内容 ①四谷小環境学習の交通安全などの見守り補助
 ②五小教室での環境学習の質疑応答補助など
 ③西府崖線の清掃及び生物多様性調査

☆日 時／令和元年9月30日(月)、10月4日(金)、10月26日(土)
 ☆研修生／府中市入庁6年目職員6名(氏名略)

A 体験研修を受講したことにより、魅力的な協働事業に携わることができたのは非常に良かったです。この研修を得たことを活かして、関係者全員が楽しみながら参加できるような協働事業を自分の文化センター内でも展開していきたいと思えます。

B 今回は体験を受け入れていただきありがとうございました。この研修を通じてこのような活動が行われていることを初めて知りました。短い時間でしたが活動に同行させていただき、学校、PTA、市民の会の方々が協力して、小学生が普段の授業では体験できない経験している過程に参加させていただき、大変有意義な活動だと感じました。今回の体験から得られたものを行政の方で活かしていければと思います。

C 皆さんが、環境活動を通じて子どもに府中の自然を伝えることにやりがいを感じているというのがとても伝わってきました。積極的に学び楽しそうにしている子どもの顔が印象的でした。ありがとうございました。

D 短い時間でしたが活動に参加させていただきありがとうございました。参加されている方々が、活動に自分なりの楽しみとゆうか、やりがいを持ちながら参加されているというのが印象的でした。今回は市民協働研修の一環として参加させていただきましたが、活動されている方と直接お話しすることで、身近なところから少しずつ府中市をよくしていきたいという思いを改めて感じる事ができました。自分自身も身近なところから行動に繋がっていきなりたいと思えます。どうもありがとうございました。

E 生活環境の中で、いつもは通り過ぎてしまう所もよく見ることで、ゴミがあつたり、たくさんの生き物がいたり、じっくり見てより良く共存するにはどうしたら良いか考える良い機会となりました。子どもたちと散歩などで歩く時も、一緒に考えて色々な発見につなげたいと思えます。

F お忙しい所、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。NPOの方々がどのような活動をされているのかを知ることができ、協働をしていくうえでの課題も感じました。今回学習した内容を業務にいかせるよう、努めていきたいと思えます。



一般財団法人
**セブン-イレブン
 記念財団**

この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けています。

